

平成23年度芦屋市立休日応急診療所運営協議会会議録

日 時	平成24年3月22日(木) 15:00~16:00
会 場	芦屋市医師会医療センター 2階会議室
出席者	会 長 北井 明 委 員 鈴木 紀元 委 員 仁科 睦美 委 員 小林 清史 委 員 金山 良男 委 員 津村 直行 委 員 小林 照信 欠席委員 安住 吉弘 事務局 北口 泰弘 瀬戸山 敏子 久保田あずさ 田中 佐代子
事務局	健康課
会議の公表	公 開
傍聴者数	0 人

1 会議次第

(1) 会長挨拶

(2) 議題

- ・平成22年度受診状況及び決算額について
- ・平成23年度受診状況について
- ・平成24年度予算(案)について

(3) その他

2 提出資料

資料1 芦屋市立休日応急診療所診療日報合計(22年度)

資料2 平成22年度休日応急診療所決算額内訳

資料3 芦屋市立休日応急診療所診療日報合計(23年度・2月末現在)

資料4 平成24年度休日応急診療所予算(案)内訳

3 会議経過

【開会】

(事務局北口) それでは、定刻になりましたので休日診療所運営協議会を開催いたします。今回、平成23年度第1回目ということで人事異動に伴う新委員を紹介させていただきます。保健福祉部こども・高齢者・健康担当部長の津村直行委員並びに芦屋市消防本部救急救命担当課長の小林照信委員でございます。

委員の皆様の任期は平成23年4月1日から平成25年3月31日までとなっております。この会議は、芦屋市情報公開条例に基づき会議は公開、また委員の皆様の名前・肩書き・会議録・会議録中の発言も公開となっておりますのでよろしくお願いいたします。それでは、開会にあたりまして会長よりあいさつをお願いします。

(北井会長) 前年のこの会議の時は、大震災で大変なときにであったことを思い出します。今年は、インフルエンザのA型もB型も流行して忙しかったですが、この会議も皆さんにご協力いただいてすすめたいと思います。

それでは、議題1について事務局より説明願います。

(事務局北口) それでは、議題1「平成22年度の受診状況及び決算額について」ご説明

させていただきます。資料1と資料2をご覧ください。

(資料1及び資料2の説明)

(北井会長) ただいまの報告について、なにかご質問ありますか。新型インフルエンザのおかげで少し赤字幅が小さくなったということですか。例年より赤字が少ないということでしょうか。

(事務局北口) 資料2をご覧ください。平成21年度は新型インフルエンザの患者増があったときですが、歳入が31,222,949円に對しまして、歳出が33,986,713円で276万の赤字でしたが、平成20年度については、歳入18,276,463円歳出8,142,213円で814万の赤字でした。このことから22年の赤字は、改善されてきたと考えます。

ただ、この内容から平成22年度は医薬材料費が1,332,100円となっており、薬剤の使用が少なかったのか、薬価が下がったのかということかと思えます。

(北井会長) 何かありますか、それでは次をお願いします。

(事務局北口) それでは議題2「平成23年度の受診状況について」ご説明させていただきます。資料3をご覧ください。

(資料3の説明)

(北井会長) 今の説明になにか、質問はございますか。

西宮以外の阪神間からの受診者は、すべてが小児というわけではないですね。

(事務局北口) 尼崎市、伊丹市、宝塚市、川西市から16名受診したうちの、8名が小児でした。

(北井会長) 阪神南北の小児の救急について、お互いに少し融通をつけようという動きもあるので、その影響もあるかと思うのですが、西宮市以外からの阪神間からの受診者が増加したというのが新しい傾向といえるのですね。それでは、次の議題3をお願いします。

(事務局北口) それでは最後に議題3「平成24年度の予算案について」ご説明をさせていただきます。資料4をご覧ください。平成24年度の予算案については、現在、市議会で審議いただいているところです。

(資料4の説明)

(北井会長) なにか質問はありますか。

仁科先生、今分包器が故障したので買換えとありましたが、これはいかがですか。

(仁科委員) このあいだ壊れました。もう古いので部品がないそうで、ぜひ買い換えてください。

(北井会長) 今はどのような状況ですか。

(事務局北口) 代わりの機器を借りている状態です。平成24年4月以降早急に購入したいと思います。予算はAEDと高圧滅菌器の61万円を予定しておりましたが、分包器を先に購入して、その後AEDと滅菌器ということになりますが、予算の範囲内でどちらの購入を優先するかを検討していきたい。

(鈴木委員) 衛生面の方が大切です。

(事務局北口) AEDはまだ大丈夫ということでしょうか。

(鈴木委員) 衛生的な面からみれば、これから舌圧子の消費は減るでしょうから、その様子を見ながら考えたらいいとは思いますが、舌圧子がなくなって、すぐに次の消毒をする必要があるときなどは、待つことができないでしょう。

(北井会長) 色々な支出があると思いますが、以前薬の小包装について、話がでたと思うのですが、仁科先生どうでしょう。

(仁科委員) それについては、確認すると薬局でないとだめなので、休日応急診療所では

だめだということです。

(北井会長) 休日応急診療所では、小包装や交換が滅菌についての対応はできないということで現状どおりということですね。後、滅菌器については、使用頻度が少ないので、ディスポの方がよいという意見もできるかと思ったのですが、その当たりコストとか比較したものを用意していただくと、皆さん納得するのではないのでしょうか。

(事務局北口) 使用の数量については、市の方ではわからないので、また指定管理していただいている医師会の事務局と相談していきたいと思います。ディスポにすべてしてしまうかともた滅菌するのであれば、だれがするのかということもあるので、医師会事務局と相談してみたいと思います。

(北井会長) 私の方としては、患者数が増えるなどして急に出務をお願いしないといけない時なのに、お願いする先生方の補償がどうなっているのかを教えてください。薬剤師については、仁科先生がご尽力いただいておりますが、急に出勤していただくお願いをする時に説明することができないので、書類とかありますか。

(事務局北口) 医師賠償保険については入っており、一日あたり出務者何人という形の保険に加入しています。

(北井委員) それは、急にお願した先生についてもあてはまりますか。

(事務局北口) 記名式ではないので大丈夫です。

(北井委員) その他、なにかありますか。

(事務局北口) 特にありません。

(北井会長) 在庫切れについては、どうですか。

(仁科先生) だいぶ少なくなりました。以前はたくさん廃棄しないといけない時もあったのですが、今は暇があると、いつ期限が切れるかを記入するようにしています。あまり出ない頓服の薬を100錠とか買っているともったいないと思うときもありますが、今のところいたしかたないかなという状況です。

(北井会長) 在庫管理について、よい知恵がある時はぜひ教えてください。忙しい時はできないと思うので、ひまな時期に無駄が少しでもでないように考えていきましょう。後、今回の診療報酬の改定で、以前話のあった精神科疾患のある患者の救急の受け入れをすると、加算がつくようになりました。このような会議の中で、皆さんの努力が少しだけではありますが、認められてきていることをお知らせしておきます。他にありませんでしょうか。それでは、これで終了いたします。ありがとうございました。

【閉会】